

# 【听译】シンデレ ラアバター

---



シンデレラアバターは駆け引きが上手  
然り気なく君にガラスの靴を捧げます

仙杜瑞拉的身份适合灵机应变  
若无其事地向你送去水晶鞋

理想的女性像で君を诳かすの  
「猫かぶり」さえ可愛らしい魔性で  
磨かれた名演技に酔い痴れなさい  
灰かぶった少女なんていなかったの

用理想的女性形象诱惑你  
甚至扮作猫咪那么可爱又魔性  
快痴醉于我磨练已久的演技下吧  
蓬头垢面的灰姑娘根本不存在

シンデレラアバターは魔法の产物  
お伽噺では刺激不足 大人の味  
シンデレラアバターは我尽にさせる  
迎えに来てよ 唇が干かないうちに

仙杜瑞拉的身份是魔法的产物  
童话故事不够刺激 成人的味道  
凭借仙杜瑞拉的身份让我为所欲为  
快来迎接我吧 趁唇印未干

お姫様 召使い なんでも演じれそう

公主 侍从 感觉什么都能演

臆病な本性さえ隠せるなら

これほどに私を狡賢くさせる

君の魅力こそが罪 気付いてるの？

只要能藏起我胆小的本性

让我变得如此狡诈

全是你的魅力的罪过 没注意到么？

シンデレラアバターは魔法の産物

お伽噺では刺激不足 大人の味

シンデレラアバターは我尽にさせる

迎えに来てよ 唇が干かないうちに

仙杜瑞拉的身份是魔法的产物

童话故事不够刺激 成人的味道

凭借仙杜瑞拉的身份让我为所欲为

快来迎接我吧 趁唇印未干

シンデレラアバターは駆け引きが上手

然り気なく君にガラスの靴を捧げます

仙杜瑞拉的身份适合灵机应变

若无其事地向你送去水晶鞋

シンデレラアバターは魔法の産物

お伽噺では刺激不足 大人の味

仙杜瑞拉的身份是魔法的产物

童话故事不够刺激 成人的味道

シンデレラアバターは我  
尽にさせる  
迎えに来てよ 唇が干か  
ないうちに

凭借仙杜瑞拉的身份让我  
为所欲为  
快来迎接我吧 趁唇印未  
干

---

お伽噺では刺激不足  
シンデレラアバターは  
迎えに来てよ 唇が干か  
ないうちに

童话故事不够刺激  
仙杜瑞拉的身份  
快来迎接我吧 趁唇印未  
干

---

お伽噺より刺激的な爱を  
顶戴

快给我比童话故事更刺激  
的爱吧

---

童话《灰姑娘》在日语通常是音译为仙杜瑞拉（シンデレラ），而这篇歌词中，仙杜瑞拉的身份是说灰姑娘由魔法变身后的身份，与灰姑娘本身<sup>はい</sup>的身份（灰<sup>しょうじょ</sup>かぶった少女）相对。

照例，左侧注音，右侧释意。

---

シンデレラアバターは<sup>か</sup>駆  
<sup>ひ</sup>け引<sup>しょうず</sup>きが上手

シンデレラアバター：  
cinderella avatar。<sup>か</sup>駆<sup>ひ</sup>け引<sup>ひ</sup>き：在战场等场合的临  
机应变。

然<sup>さ</sup>り気<sup>げ</sup>なく君<sup>きみ</sup>にガラス  
の靴<sup>くつ</sup>を捧<sup>ささ</sup>げます

然<sup>さ</sup>り気<sup>げ</sup>なく：若无其事，  
装作是不经意间。

理<sup>り</sup>想<sup>そう</sup>的<sup>てき</sup>女<sup>じょ</sup>性<sup>せい</sup>像<sup>ぞう</sup>で君<sup>きみ</sup>を誑<sup>たぶら</sup>  
かすの

誑<sup>たぶら</sup>かす：欺骗、诱惑、勾  
引。

「猫<sup>ねこ</sup>かぶり」さえ可<sup>かわい</sup>愛<sup>あい</sup>ら  
しい魔<sup>ま</sup>性<sup>しょう</sup>で

「猫<sup>ねこ</sup>かぶり」：更常见的  
是引申义，表示装作老  
实、乖巧。这里本意装作  
猫的样子。

磨<sup>みが</sup>かれた名<sup>めい</sup>演<sup>えん</sup>技<sup>ぎ</sup>に酔<sup>よ</sup>い  
痴<sup>し</sup>れなさい

灰<sup>はい</sup>かぶった少<sup>しょう</sup>女<sup>じょ</sup>なんてい  
なかったの

シンデレラアバターは魔<sup>ま</sup>法<sup>ほう</sup>の产<sup>さん</sup>物<sup>ぶつ</sup>

お伽<sup>とぎ</sup>噺<sup>ばなし</sup>では刺<sup>し</sup>激<sup>げき</sup>不<sup>ぶ</sup>足<sup>そく</sup>大<sup>お</sup>人<sup>とな</sup>の味<sup>あじ</sup>

シンデレラアバターは我<sup>わ</sup>尽<sup>が</sup>にさせる

迎<sup>むか</sup>えに来<sup>き</sup>てよ唇<sup>くちびる</sup>が干<sup>かわ</sup>かないうちに

お姫<sup>ひめ</sup>様<sup>さま</sup>召<sup>め</sup>使<sup>しつか</sup>いなんでも演<sup>えん</sup>じれそう

臆<sup>おく</sup>病<sup>びょう</sup>な本<sup>ほん</sup>性<sup>しょう</sup>さえ隠<sup>かく</sup>せるなら

わたし ずるがしこ  
これほどに私 を 狡賢 くさせる  
きみ みりよく つみ き づ  
君 の 魅力 こそが 罪 気 付 いてるの？

---

まほう さんぶつ  
シンデレラアバターは 魔法 の 産物  
とぎばなし しげき ぶそく おとな あじ  
お 伽 噺 では 刺激 不足 大人 の 味  
わがまま  
シンデレラアバターは 我尽 にさせる  
むか き くちびる かわ  
迎 えに 来 てよ 唇 が 干 かないうちに

---

か ひ じょうず  
シンデレラアバターは 駆 け 引 きが 上手  
さ げ きみ くつ ささ  
然 り 気 なく 君 に ガラス の 靴 を 捧 げます

---

まほう さんぶつ  
シンデレラアバターは 魔法 の 産物  
とぎばなし しげき ぶそく おとな あじ  
お 伽 噺 では 刺激 不足 大人 の 味  
わがまま  
シンデレラアバターは 我尽 にさせる  
むか き くちびる かわ  
迎 えに 来 てよ 唇 が 干 かないうちに

---

とぎばなし しげき ぶそく  
お 伽 噺 では 刺激 不足  
シンデレラアバターは  
むか き くちびる かわ  
迎 えに 来 てよ 唇 が 干 かないうちに

---

ときばなし しげきてき あい ちょうだい  
お 伽 嚟 より 刺 激 的 な 愛 を 頂 戴